



宮城 塩釜市

浦戸再生へ 担い手育てる

松島湾の湾口部に浮かぶ浦戸諸島のうち、塩釜市の有人4島は東日本大震災の津波で最大8.5m浸水し、家屋の半数が全壊流失した。住宅の高台移転や災害公営住宅整備が進んだ一方、本土での住宅再建を選択する住民も相次ぎ、今年4月末の人口は震災前のほぼ半数の313人になった。

4島の高齢化率は70%超。市は地域おこし協力隊として漁業を学ぶ移住者を募り、水産業と島の暮らしの担い手を育てている。本年度は住民の生活課題の解決を図る「浦戸再生プロジェクト」を本格化させる。

本土は丘陵地が多く、沿岸部の平野は入り江を埋め立ててきた歴史がある。埋め立て地が6割を占める市街地も浸水したが、市は土地の狭さや被災世帯への意向調査を踏まえ「現地再建」を復興方針に掲げた。

市は市街地4地区で復興事業を展開。藤倉2丁目と北浜の両地区は土地区画整理事業で宅地のかさ上げなどを実施。港町地区は防災力強化のため避難デッキや防災センターを新設した。海岸通1番、2番地区は再開発事業で住居や商業施設を一体的に整備する。

国内有数の生鮮マグロの水揚げ高を誇る市魚市場は被災後、閉鎖型の荷さばき場を持つ高度衛生管理型施設に建て替えられた。昨年の水揚げ高は過去最低の約76億円。マグロ依存からの脱却が課題だ。

水産業界はサバなどの「青物」の受け入れ拡大や、欧州連合への冷凍カツオの加工品輸出に力を注ぐ。



建て替えられた市魚市場は高度衛生管理型の荷さばき所を備え、生鮮マグロなどの水揚げと競りに使われる。食堂や海産物販売所、展示スペースもある＝1月

● まちのデータ

人口	2021年6月1日 5万1793人	11年3月1日 5万6221人	増減率 -7.9%
復興交付金	526億4104万円		
犠牲者	死亡 24人	行方不明 0人	関連死 18人
住宅被害	全壊 672棟	半壊 3278棟	一部破損 6993棟

※復興交付金は復興庁まとめて、塩釜市内で実施された宮城県事業への交付分を含む。人口、犠牲者、住宅被害は県まとめ

2020年



2011年



● まちの動き

- 2011年**
 - 3月11日 地震発生。塩釜で震度6強。津波の最大浸水高は浦戸で8.5m、本土で4.8m
 - 4月28日 宮城県内で最も早く仮設住宅の入居始まる。計206戸を順次整備
 - 7月13日 最大46カ所の避難所を全て閉鎖。ピーク時8771人が身を寄せた
 - 8月12日 中小企業基盤整備機構が被災地で建設した初の仮設店舗「しおがま・みなと復興市場」オープン。市震災復興計画を策定
- 2012年**
 - 7月1日 被災した観光施設「マリゲート塩釜」が復旧
 - 9月22日 音楽と食、アートのイベント「GAMA ROCK (ガマ・ロック)」初開催
- 2013年**
 - 5月1日 市役所番館庁舎が開庁
 - 9月26日 コミュニティFM「ベイウエーブ」が臨時災害放送局としての業務を終え、通常放送再開
- 2014年**
 - 7月19日 桂島海水浴場が震災後初オープン
 - 11月23日 市杉村尊美術館が開館
- 2015年**
 - 4月1日 小中一貫の浦戸小中学校が開校
 - 11月7日 海産物直売所「しおがま千賀の浦市場」営業再開
 - 12月13日 桂島と寒風沢島に多目的室や宿泊室を備えた「ステイ・ステーション」開所
 - 12月25日 浦戸4島に災害公営住宅全44戸が完成
- 2016年**
 - 1月15日 明治の建築物を利用した「カフェ はれま」開店
 - 4月23日 港町1丁目・海岸通地区で津波避難デッキ開通
- 2017年**
 - 3月17日 本土を含む災害公営住宅全390戸の整備完了
 - 10月25日 市魚市場の全面建て替え工事完了
- 2018年**
 - 7月12日 市津波防災センター開館
- 2019年**
 - 10月25日 海岸通2番地の再開発事業で商業エリア「直会(なおらい)横丁」が着工
- 2020年**
 - 7月31日 海岸通1番地の再開発事業でマンションや商業施設、駐車場を組み合わせ合わせた複合施設が全て完成

2001年



● まちの宝



塩釜水産物仲卸市場

生鮮魚介類や加工品を扱う92店が並ぶ。売り場面積約4950平方m。場内で購入した海の幸で自分好みの丼をつくる「マイ海鮮丼」が人気。2019年には16万人以上の観光客が訪れた。



塩釜神社

1000年以上の歴史を持ち、「陸奥国一之宮」として朝廷からも崇敬された。本殿や拝殿は国の重要文化財で、末社の御釜神社の藻塩焼(もしおやき)神事は宮城県の無形民俗文化財。

浦戸諸島開発総合センター周辺に災害公営住宅が整備され、漁港施設の復旧も進む。2020年11月18日、浦戸諸島の野々島

津波で多くの家屋が被害を受けた野々島。住民は高台の熊野神社に避難し、現在の浦戸小中学校に移転した。2011年4月25日

松島湾に浮かぶ野々島(左)と寒風沢島(右)、朴島(右奥)。2001年5月(一般社団法人東北地域づくり協会提供)